

卓越したコーティングの性能で

看板の美を *Keep!*

SIGN KeePer

サインキーパー

「年間300万台」のカーコーティング実績 独自の技術を応用し“SIGN KeePer”が

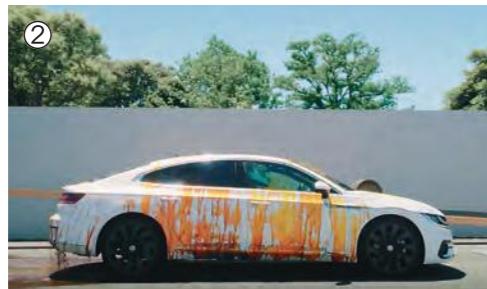
(サインキーパー)



キーパーコーティング「キレイへの挑戦」



色水(汚れ)をぶつけたが、



汚れを弾いて



落ちてしまった。さらに



水をかけたら、新車に戻った。

KeePerのボディガラスコーティングは柔軟で分厚いオリゴマーのガラス被膜と、その上に、吟味に吟味を重ねて造ったレジン被膜の二層構造です。
(特許登録済み)

この二重被膜は、比類なき強力な撥水性能を持っており、例えば、Wダイヤモンドキーパーをかけた新車に、色粉(染料)を濃厚に溶かして酷い汚れを模した「濃い色水」を、走行する新車の頭上から専用の装置で、強烈に、しかも何色もいつぶんに、

- ① 色水(汚れ)をぶつけたが、
- ② 汚れを弾いて、
- ③ 落ちてしまった。さらに
- ④ 水をかけたら、新車に戻った。

KeePerコーティングは強烈に汚れも弾いてしまい、雨が降ると、洗車したてのようにキレイになる不思議な現象が起きます。

この、KeePer独自の知識・技術を応用し、
看板がキレイなままになる
看板用のコーティング
“サインキーパー”を開発しました。



CG加工一切なし
KeePerの不思議 >



を誇るKeePerから開発されました。



サインキーパーの特長

1 KeePerの自浄効果で汚れを弾いてキレイが続く

KeePer独自の「雨が降ると汚れが流れ落ちる」自浄効果をサインキーパーにも応用した結果、高い撥水力で雨が降るとホコリなどの汚れが固着せず、キレイに流れ落ちることが看板でも実証されました。また、サインキーパーの厚いガラス被膜は、優れた耐候性を発揮するため、紫外線による日焼けや、風雨の摩擦による色褪せやを防止し、看板の美しさを保ちます。



コーティング施工から9ヶ月後の状態。目地の左側がコーティングなしで、右側がコーティングした部分が、全く汚れていないのがわかる。



排気ガス等の汚れが多い高速沿線に掲出しているKeePerの屋外看板にサインキーパーを施工。6ヶ月経過後も汚れは目視できず、タオルで吹いても全く汚れはつかなかった。

2 看板が驚くほどくっきり鮮やか 新品同様の色ツヤが続く

紫外線や風雨の摩擦で表面が劣化すると、看板の表面に凹凸を作り、光の乱反射を起こし、色あせや看板のくすみの原因になります。サインキーパーの厚みのあるガラス被膜は、看板表面の凹凸を埋め平滑化し、光の乱反射を解消。看板本来のくっきり鮮やかな色ツヤが続きます。



ガラス被膜が凹凸を埋め、看板表面を平滑化し、光の乱反射を解消。

施工前と施工後の境目がくっきりわかるほど看板の色が鮮やかになり、美しさが続く。

メリット

- 1 劣化しないので表示内容が見やすいまま
- 2 いつもキレイな看板で企業イメージの向上
- 3 雨が降ると汚れが流れ落ちるため清掃や改修にかかるコストを軽減できる
- 4 KeePerはケミカルを一括大量生産しているのでローコストで製品を提供できる

